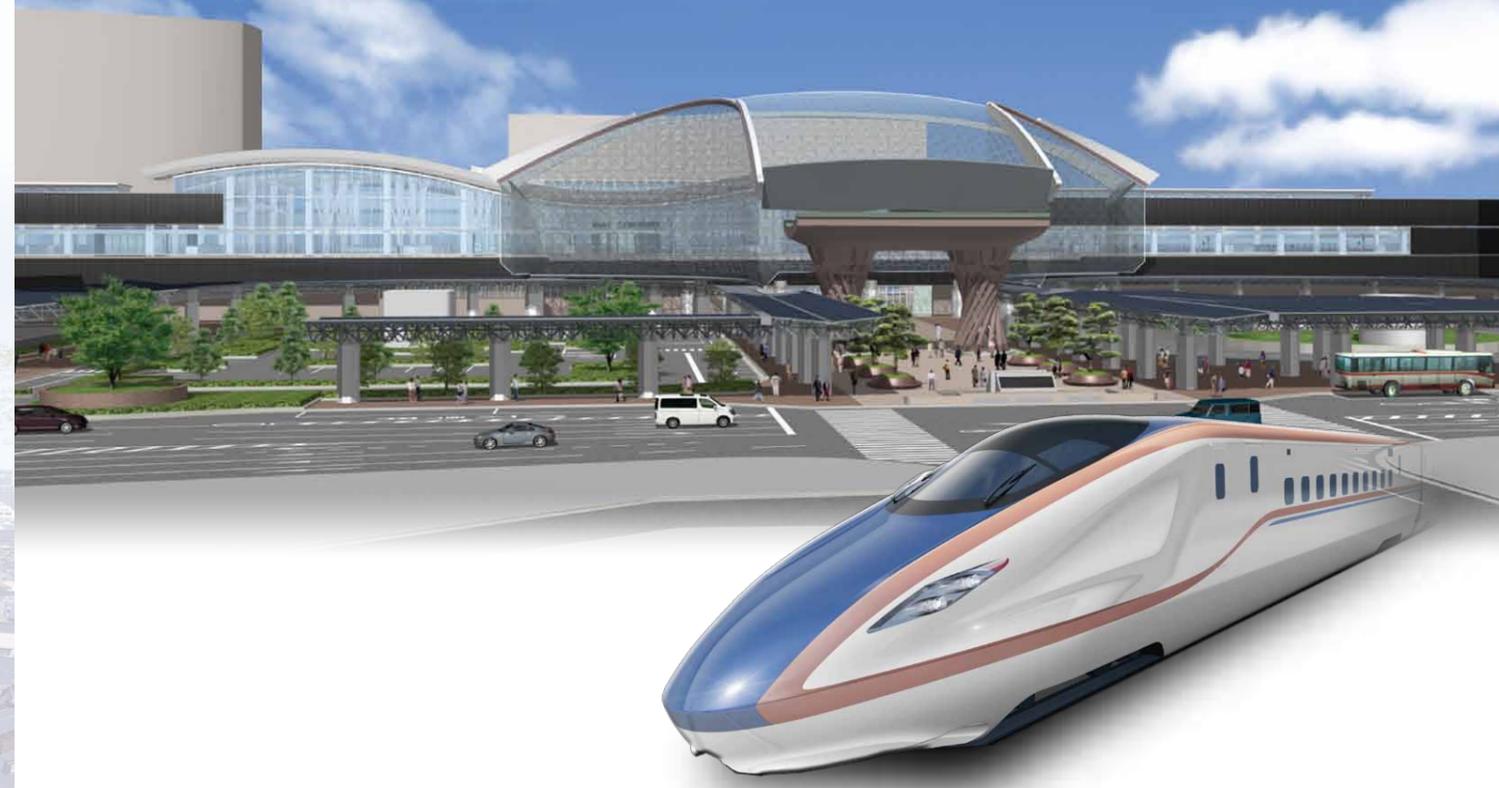


平成25年3月発行

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号
金沢市企画調整課 Tel.076-220-2031 Fax.076-264-2535
金沢市観光交流課 Tel.076-220-2194 Fax.076-260-7191

新幹線開業 プロモーション・イベント 実施計画



金 沢 市



2015年春・北陸新幹線開業



目次

- I.策定の経緯 1
- II.施策の柱 1
- III.計画の期間 1
- IV.計画の全体像 2
- V.計画の概要 4
 - 1. 首都圏における総合的プロモーションの展開 5
 - 2. 滞在型観光の促進 10
 - 3. リピーター拡大に向けた展開強化 13
 - 4. 都市間交流・連携によるプロモーションの推進 15
 - 5. 開業気運の醸成と開業記念イベントの開催 17
 - 6. おもてなし環境の整備 26
 - 7. ICTを活用した情報発信の充実強化 27
- VI.イベントスケジュール 28

I.策定の経緯

本市では、平成27年春の北陸新幹線開業に向けて、開業効果を最大限に引き出すため、「金沢魅力発信行動計画」の実践に取り組んできた。昨年には、特に重点的に取り組むべき施策をカウントダウン・ミッションとして「後期実践方策」に盛り込んでおり、その具現化策の一つとして、「新幹線開業プロモーション・イベント実施計画」を策定するものである。

II.施策の柱

開業効果を最大限に引き出すには、大きく分けて首都圏側と金沢側の二つの観点から取り組む必要がある。具体的には、首都圏からの交流人口の拡大のためのプロモーションの強化とおもてなしの気運醸成など受入環境の整備である。

それぞれの観点の中でも、さらに多様な視点から、重点的な施策展開が必要であり、本計画は以下に示す7つの柱で構成する。

プロモーションの強化	首都圏における総合的プロモーションの展開	金沢の強みの発信とともに、危惧されるマイナス効果を解消する。
	滞在型観光の促進	日帰り客の増加懸念を払拭し、宿泊需要を拡大する。
	リピーター拡大に向けた展開強化	開業効果を持続させ、何度でも訪れたいまちをめざす。
	都市間交流・連携によるプロモーションの推進	都市間連携により、エリアとして売り込み、相乗効果を図る。
受入環境の整備	開業気運の醸成と開業記念イベントの開催	市民意識を高め、おもてなしの気運醸成を図る。
	おもてなし環境の整備	来街者が便利に移動でき、快適に楽しんでもらえるよう環境を整備する。
	ICT*を活用した情報発信の充実強化	タイムリーな情報収集を可能とするICTを活用する。

なお、開業1年後には、北海道新幹線の新函館開業が予定されており、逐次、新規事業を追加するなど、工夫を凝らしながら、計画の進捗を管理していく。

III.計画の期間

平成25年度～平成27年度(開業の前年度～翌年度)

※ただし、開業プロモーションは平成29年度まで

* ICT
Information and Communication Technologyの略、情報通信技術

IV.計画の全体像

1. 首都圏における総合的プロモーションの展開

- (1) JRとの共同プロモーションの展開
 - JR東日本管内集中キャンペーン
JR駅でのイベント開催、
金沢特集パンフレットの発行など
 - 旅行商品造成の支援
 - 首都圏開業記念イベントの実施検討調査
- (2) 首都圏エージェント
旅行商品造成への支援
 - エージェント招聘、商談会、
観光PRセミナーの開催
 - モニターツアー開催等への支援
- (3) 首都圏有力広報媒体活用
キャンペーン
 - 有力旅行雑誌、有力ネット媒体、
富裕層向け高級雑誌
- (4) 首都圏PRイベント等の開催
 - 石川県やJRと連動した
大規模キャンペーン・イベント
JRデスティネーション・キャンペーン
石川県キャンペーン(日本橋・京橋まつり)
ふるさと祭り東京への出展
 - 物産展・オーケストラ・アンサンブル金沢
タイアップキャンペーン
 - 交通広告を活用した情報発信
 - 金沢学講座の開催
 - 観光PRイベントへの出展
 - テレビ番組等の誘致
- (5) 首都圏開業プロモーション等への支援
- (6) プロモーションツールの整備
 - プロモーションCMの制作
 - プロモーションツールの制作
 - 金沢 食のお土産プロジェクト
- (7) 金沢クラフト「首都圏魅力発信拠点」の
検討調査

2. 滞在型観光の促進

- (1) 金沢プレミアム旅行の造成・発信
 - 富裕層向けクラフト・ツーリズムの造成・発信
- (2) ナイトカルチャーの創出・発信
 - ナイトミュージアム
 - ナイトカルチャー
 - ナイト文化財
 - 夜のにぎわい創出
 - 世界との交流 冬の金沢魅力発信
(マルシェ・ド・ノエル(クリスマス市)金沢の開催)
- (3) 金沢の「食」の魅力発信
 - 東京・都心地域での金沢フェアの開催
- (4) アーキテクチャー・ツーリズムの発信
 - アーキテクチャー・ツーリズムの構築
 - 金沢の建築文化の発信

3. リピーター拡大に向けた 展開強化

- (1) 金沢版
「クラフト・ツーリズム」の発信
 - 「体感!金沢の旅」
 - 「金沢芸妓のほんものの芸にふれる旅」
- (2) 観光素材発掘による
モデルコースの整備
 - 新たな観光素材を発掘し、
観光モデルコースを整備
- (3) MICE推進
 - 現行制度を統合し、新たな補助制度を創設
 - 金沢市MICE推進協議会による訪問セールス
 - 招聘視察会開催、MICE商品の企画提案
- (4) 修学旅行誘致
 - 北関東圏の中学校を対象とした誘致
 - 他地域と連携した修学旅行ルートの企画・提案
- (5) 金沢ゆかりの企業人
ネットワークの構築
 - 支店長会議の企業人に対し転勤後も
金沢情報を発信
- (6) 金沢冬の旅キャンペーン

4. 都市間交流・連携による プロモーションの推進

- (1) 北陸新幹線沿線都市との連携推進
 - 沿線都市と連携し、プロモーション等を実施
- (2) 北陸飛騨3つ星街道広域観光推進
 - 高山市、南砺市、白川村と連携し、広域観光ルートを造成
- (3) 金沢都市圏近隣自治体との交流促進
- (4) 都市間交流ネットワークによる
シティプロモーション強化
 - 仙台市との交流を推進
- (5) 金沢・富山県西部広域観光推進
 - 加賀藩ゆかりの地と連携し、プロモーションを推進
- (6) JRと連携した長野市との連携強化
 - 首都圏等でのプロモーションを共同で展開
- (7) 国際観光誘客宣伝
- (8) 台湾との誘客・交流促進

5. 開業気運の醸成と 開業記念イベントの開催

- (1) 市民への開業気運の醸成
 - 開業PRボード、懸垂幕等の掲示
 - カウントダウンボードの設置、
ホームページの開設
 - 民間団体等が実施する開業を広く周知する
ための新たな取り組みへの支援
- (2) 開業カウントダウンイベントの開催
 - キックオフフェスタ、新幹線レール1000人ウォーク
 - 開業1年前、200日前、100日前カウントダウン
食、伝統文化等を発信するイベント開催
- (3) 開業時イベントの開催
 - 開業記念パレード、フェスタ、開業記念展など
- (4) 開業後イベントの開催
 - 開業記念サマーイベント、開業1周年イベント
食、伝統文化等を発信するイベント開催
- (5) 連携イベントの開催
 - 四季を通じた賑わい創出・観光誘客イベント

6. おもてなし環境の整備

- (1) 石川県金沢観光情報センターの
機能強化
 - 観光情報センターリニューアル
 - コンシェルジュ養成、手荷物預かり等
- (2) 金沢市観光協会の充実強化
 - プロモーション体制、
メディア等の取材体制等の強化
- (3) 二次交通案内の充実
 - わかりやすいバスローケーションの設置
 - わかりやすいバス案内板の設置
- (4) 公的サインの総合点検整備
 - 観光客目線による公的サインの点検整備

7. ICTを活用した情報発信の 充実強化

- (1) スマホ対応観光情報の多言語化
 - 英語版、フランス語版ページの開設
- (2) 観光客向けバス検索システムの開発
 - 主要観光スポット間のスマホ用バス経路
検索システムを開発
- (3) 金沢市HPのスマホ対応化
 - 文化・芸術施設や市公式ホームページ等を
スマホ全対応
- (4) ICTを活用した観光情報の発信
 - 金沢市観光協会ホームページの掲載情報を
整理し、利便性を向上
- (5) 観光客向けメールマガジンの充実
 - 金沢ファンを増やすため、テーマを設定し
観光情報を発信

V.計画の概要

1. 首都圏における総合的プロモーションの展開

(1) JRとの共同プロモーションの展開

JRとタイアップしたキャンペーン等を集中的に行うことによって、開業プロモーションを強力に展開する。特に、発地側となるJR東日本との連携により、首都圏の消費者に対し、効果的に新幹線開業及び観光素材を発信する。

① JR東日本管内集中キャンペーン

JRとタイアップし、駅でのイベント開催、金沢特集パンフレットの発行などにより、新幹線開業及び観光素材を発信する。

A JR駅でのイベント開催 時期 / 平成25年度～

大宮駅等で、伝統芸能の披露やミス百万石による金沢の紹介を行うほか、観光ブースを設置し、観光PRを行う。



大阪駅での観光PRイベント

B JRとタイアップした金沢特集パンフレットの発行 時期 / 平成25年度～

平成24年度にJR西日本と共同で発行した金沢特集パンフレット「金沢日和」を継続発行し、JR東日本とも連携し、首都圏JR駅構内等に配置する。

C JR東日本管内駅舎や車内での情報発信 時期 / 平成26年度～

魅力ある観光ポスターを制作し、JR東日本駅舎内の連絡通路や広場等に掲出するほか、プロモーション映像を放映するなど、首都圏のJR線の車内広告媒体を活用し、新幹線開業及び観光素材を発信する。

② 旅行商品造成の支援 時期 / 平成25年度～

金沢の魅力ある観光素材を活かした旅行商品の造成を支援するため、観光素材の提供のほか、モニターツアー開催に対する支援や新たに造成する旅行商品のPR支援を行う。

③ 首都圏開業記念イベントの実施検討調査 時期 / 平成25年度

JR駅や駅周辺でのイベント開催は、開業PR効果が高いことから、JR東日本と連携した開業PRイベント開催について企画内容を検討する。

(2) 首都圏エージェント旅行商品造成への支援

旅行エージェント*に対し、観光素材やツアーコースを提案し、金沢の魅力を活かした旅行商品の造成を目指す。

① エージェント招聘、首都圏での商談会・観光PRセミナーの開催 時期 / 平成25年度～

旅行エージェントの招聘視察会、商談会、観光素材PRセミナーの開催により、効果的に旅行商品の造成を支援する。旅行エージェントへのニーズ調査等により、要望にマッチした情報を提供する。トップセールスにより、PR効果を高める。



商談会

② モニターツアー開催等への支援 時期 / 平成25年度～

旅行エージェントが企画するモニターツアー開催に対する支援や新たに造成する旅行商品のPRに対して支援を行う。

* 旅行エージェント
旅行商品を造成し、販売する旅行会社

(3) 首都圏有力広報媒体活用キャンペーン 時期 / 平成25年度～

有力旅行雑誌、有力ネット媒体、富裕層向け高級雑誌などを活用し、伝統工芸、伝統文化、伝統芸能、食など金沢が誇る日常では味わえない上質な金沢を発信する。ターゲットや広報媒体を絞り、より戦略的、集中的に展開するほか、タイアップ企画の提案により、効率的・効果的な発信に努める。

(4) 首都圏PRイベント等の開催

開業プロモーションを効果的に展開するため、イベント等を首都圏で開催する。

① 石川県やJRと連動した大規模キャンペーン・イベント

A JRデスティネーション・キャンペーン* 時期 / 平成27年10～12月

誘客効果が高い観光キャンペーンであることから、観光素材等を新たに発掘する等、積極的に観光企画を提案する。

B 石川県キャンペーン 時期 / 平成26年10月(予定)

「日本橋・京橋まつり」と共同で開催される「いしかわ百万石大パレード・いしかわ百万石楽市楽座」へ参加し、伝統工芸、伝統芸能、食などを発信するほか、観光ブースを出展する。

C ふるさと祭り東京への出展 時期 / 平成27年1月(予定)

まつり、食などを発信するほか、観光ブースを出展する。



ふるさと祭り東京

* JRデスティネーション・キャンペーン
JRとタイアップした観光プロモーションで、平成27年10～12月に石川県、富山県、福井県の北陸三県共同で実施予定

② 物産展・オーケストラ・アンサンブル金沢ティアアップキャンペーン 時期 / 平成17年度～

物産展主催団体とティアアップし、会場に観光コーナーや伝統芸能披露ステージを設置し、観光素材をPRするほか、オーケストラ・アンサンブル金沢のコンサート会場で新幹線開業及び観光素材を発信する。



阪急うめだ本店での物産展

③ 交通広告を活用した情報発信 時期 / 平成25年度～

首都圏の鉄道等の車内広告媒体を活用し、新幹線開業及び観光素材を発信する。

④ 金沢学講座の開催 時期 / 平成25年度

板橋区と連携し、金沢のまちづくりや金沢の魅力などを紹介する講座を開催し、首都圏の金沢ファンを増やす。

⑤ 観光PRイベントへの出展 時期 / 平成25年度～

旅行業界や消費者向けに開催される観光PRイベントに参加し、新幹線開業及び観光素材を発信する。

⑥ テレビ番組等の誘致 時期 / 平成26年度～

旅番組や情報番組を誘致し、伝統工芸、伝統文化、伝統芸能、食など金沢が誇る日常では味わえない上質な金沢を発信する。

(5) 首都圏開業プロモーション等への支援 時期 / 平成25年度～

首都圏等での観光物産展の開催を推進するため、民間団体の物産展開催を支援し、金沢の食や伝統工芸を効果的に発信する。

(6) プロモーションツール*の整備

金沢独自のプロモーションCM、プロモーションツールやノベルティグッズを制作・購入し、各種プロモーションにおいて効果的に活用する。

① プロモーションCMの制作 時期 / 平成25年度

東京駅から金沢駅へと新幹線のレールがつなぐストーリーのCMを制作する。

② プロモーションツールの制作 時期 / 平成25年度

キャンペーン等で使用するための、のぼり旗、タペストリー、法被等について、新幹線開業仕様のを新たに制作するほか、タブレット端末*を購入し、効果的なプロモーションを展開する。



2015年春・北陸新幹線開業

キャッチフレーズ・ロゴマーク(プロモーション用)

③ 金沢 食のお土産プロジェクト 時期 / 平成25年度～

金沢ならではの食品を観光客のお土産として販路拡大を図るため、商品の改良や首都圏等でのプロモーションを実施する。

(7) 金沢クラフト「首都圏魅力発信拠点」の検討調査 時期 / 平成25年度

金沢クラフトの魅力を効率的かつ効果的に発信するため、情報の集積及び発信地である東京に、本市独自の魅力発信拠点の開設を検討する。

* プロモーションツール
金沢や北陸新幹線開業をPRするのぼり旗や展示品など

* タブレット端末
手軽に持ち運べる平板型で、タッチパネル方式で操作ができる携帯型の情報端末

2. 滞在型観光の促進

(1) 金沢プレミアム旅行の造成・発信

武家文化が今も息づく金沢ならではの、日常では味わえない上質な旅行商品の造成を官民協働で企画提案する。

① 富裕層向けクラフト・ツーリズムの造成・発信 時期 / 平成25年度～

職人や工房と連携し、富裕層向けクラフト・ツーリズム「ほんものの工芸にふれる旅」を企画し、旅行エージェントに提案する。



加賀友禅絵付け

(2) ナイトカルチャーの創出・発信

金沢での宿泊旅行を促進するため、新たな夜の観光素材を提案する。

① ナイトミュージアム 時期 / 平成25年度～

金・土曜日の文化施設の夜間開館にあわせて各館で特別展示やスタンプラリーなどのイベントを実施する。



金沢文芸館ライトアップ

② ナイトカルチャー 時期 / 平成25年度～

ナイトミュージアムと連携し、演奏会や伝統芸能などを実施することで相乗効果を高め、まちなかの賑わいを創出する。

③ ナイト文化財 時期 / 平成25年度～

ナイトミュージアム等と連携し、文化財(建造物、庭園)を夜間ライトアップして特別公開する。

④ 夜のにぎわい創出 時期 / 平成25年10月

金沢らしい夜の魅力を創出するため、まちなかにおけるプロジェクトマップを用いた実証実験を実施する。

⑤ 世界との交流 冬の金沢魅力発信(マルシェ・ド・ノエル金沢の開催) 時期 / 平成25年12月

フランスを代表するクリスマス・イベント(クリスマス市)を開催し、世界との交流、冬季の誘客拡大やまちなかの賑わい創出を図ることで、冬の新たな魅力を発信する。

(3) 金沢の「食」の魅力発信

観光旅行における「食」の役割は大きいことから、金沢の「食」の魅力を発信する。

① 東京・都心地域での金沢フェアの開催 時期 / 平成25年度

「五感で感じる金沢」のコンセプトのもと、観光やクラフトのPRを行うとともに、加賀野菜を使用した特別メニューを用意し、トータルで金沢を発信する。



金沢フェア開催イメージ



加賀野菜

(4)アーキテクチャー*ツーリズムの発信

金沢の建築物を巡るツアーを造成し、一般観光客のほか、建築の専門家・研究者や学生など、建築の視点での誘客を促進する。観光ガイドや雑誌に掲載のない建築文化を発信することで、新たなターゲット層の誘客につなげる。

①アーキテクチャーツーリズムの構築 時期 / 平成25年度～

観光素材としての新たなキーワード「アーキテクチャー」の視点から、歴史建造物や現代建築等を巡るコースを設定し、旅行エージェント向けに旅行商品として提案する。

②金沢の建築文化の発信 時期 / 平成25年度～

著名建築家の建築物ガイドマップを作成する。



鈴木大拙館

3. リピーター拡大に向けた展開強化

(1)金沢版「クラフト・ツーリズム」の発信

ユネスコの「クラフト創造都市」として、「手仕事のまち・金沢」を国内外に発信するため、魅力的な旅行商品を造成し、受入体制を確立している。今後は、旅行エージェントへのプロモーションの強化を図る。

①「体感!金沢の旅」 時期 / 平成19年度～

金沢の技芸・工芸・食を活かした観光資源を磨き、体験型観光の商品として「特別な旅」を広く発信する。



体感!金沢の旅

②「金沢芸妓のほんものの芸にふれる旅」 時期 / 平成18年度～

三茶屋街で芸妓の伝統芸能にふれるお座敷体験の機会を提供する。6月から3月の土曜日を中心に年間45回開催。



金沢芸妓のほんものの芸にふれる旅

(2)観光素材発掘によるモデルコースの整備 時期 / 平成25年度～

新たな観光素材を発掘し、観光モデルコースを整備する。

(3) MICE*推進 時期 / 平成24年度～

金沢の魅力を活かしたMICE開催を一層促進するため、現行制度を統合し、新たな補助制度を創設する。

官民連携組織である「金沢市MICE推進協議会」による首都圏を中心とする誘致活動の強化を図り、旅行エージェント招聘視察会を開催するほか、MICE商品を官民協働で企画提案する。



* アーキテクチャー
建築、建築学、建築様式

* MICE
企業会議 (Meeting)、報奨旅行 (Incentive)、学会・大会 (Convention)、展示会・イベント (Exhibition/Event) を総称したもの

(4) 修学旅行誘致 時期 / 平成25年度～

北関東圏の中学校を対象とした修学旅行の誘致に向けたPR活動を強化する。

宿泊施設、体験活動メニュー、班別プログラム作成等の受入環境を整備するほか、他地域と連携した修学旅行ルート等を企画し、旅行エージェント等へ提案する。



修学旅行

(5) 金沢ゆかりの企業人ネットワークの構築 時期 / 平成25年度～

拠点性向上ネットワークに参加する企業人が転勤等により金沢を離れた後も、金沢の魅力や情報を発信してもらえるよう登録制度を構築し、情報発信を行う。

(6) 金沢冬の旅キャンペーン 時期 / 平成20年度～

冬期における観光誘客の強化のため、特典付きガイドブックを発行する。



金沢冬の旅キャンペーン



4. 都市間交流・連携によるプロモーションの推進

[国内]

(1) 北陸新幹線沿線都市との連携推進 時期 / 平成20年度～

他の新幹線沿線都市と対抗できる地域ブランド力を高めるため、沿線都市会議と連携し、プロモーションを行うほか、観光サミットや共同イベントを開催する。

(2) 北陸飛驒3つ星街道広域観光推進 時期 / 平成24年度～

世界遺産や3つ星観光地といった我が国屈指の観光資源を有する高山市、南砺市、白川村と連携し、広域観光ルートを造成し、官民一体となって観光誘客を推進する。



広域観光サミット

(3) 金沢都市圏近隣自治体との交流促進 時期 / 平成20年度～

開業効果を波及するため、周辺3市2町の官民一体で観光振興、交通アクセス向上、農産物のブランド化、もてなし力の向上などに取り組むほか、金沢周辺広域観光ルートを発信する。

(4) 都市間交流ネットワークによるシティプロモーション強化 時期 / 平成25年度～

「交流拠点都市金沢」を目指し、シティプロモーションを推進する。

- 仙台市との交流推進

5. 開業気運の醸成と開業記念イベントの開催

(5) 金沢・富山県西部広域観光推進 時期 / 平成18年度～

藩政期以来の加賀藩の歴史・文化を共有する7市と観光関連団体が連携し、「加賀藩」をコンセプトに、首都圏キャンペーンや加賀藩学講座を開催するなど、誘客を図る。

(6) JRと連携した長野市との連携強化 時期 / 平成25年度～

北陸新幹線沿線都市の長野市(JR東日本管内)と連携し、首都圏等でのプロモーションを効率的・効果的に展開する。また、長野市との移動時間が大幅に縮小されることから、交流人口の拡大を目指す。

[国 外]

(7) 国際観光誘客宣伝

高山市、松本市、名古屋市等と連携し、北陸新幹線を活用した国内周遊ルートの提案を行う。

(8) 台湾との誘客・交流促進 時期 / 平成23年度～

北陸新幹線を活用した回遊性のある国内観光ルートを提案し、民間主体の継続的な交流及び台湾全土からの誘客促進を図る。



大台南国際旅展

(1) 市民への開業気運の醸成

北陸新幹線の金沢開業に向け、官民一体となった開業準備をさらに進めるため、市民や事業者等の開業への気運を醸成する。

① キャッチフレーズ・ロゴマークを活用した開業PR

キャッチフレーズ及びロゴマークを活用したPRボード、懸垂幕等の掲示やPRグッズ等を作成し、積極的に活用することにより、平成27年春の金沢開業を広く周知し、開業に向けた気運を高める。

A 開業PRボードの作成・掲示 時期 / 平成25～26年度

大型の開業PRボードを交通結節点等に設置する。

B 懸垂幕の作成・掲示 時期 / 平成25～26年度

市庁舎前に開業日までのカウントダウンやイベントの告知等を掲示する。



懸垂幕

C タペストリーの作成・掲示 時期 / 平成25～26年度

もてなしドームに開業日までのカウントダウンやイベントの告知等を掲示する。

D ポスターの作成・掲示 時期 / 平成25～26年度

市関連施設や商業施設等に掲示し、市民に広く開業をPRする。

② 各種媒体を活用した情報の発信

カウントダウンボードの設置や、ホームページの開設、開業の効果等を紹介するためのパンフレット等の作成により、開業に関する情報を発信することで市民意識の醸成を図る。

A カウントダウンボードの設置 時期 / 平成26年度(開業200日前～開業日)

カウントダウンボードを交通結節点等に設置する。

B 開業PRホームページの開設 時期 / 平成25年度

開業記念イベントや駅舎工事の進捗など、新幹線開業に関する情報を掲載する。

C 各種パンフレットの作成・配布 時期 / 平成25～26年度

開業の効果やおもてなしの必要性等を紹介するパンフレット等を作成し、イベント等で配布する。



紹介冊子(小学生向け)



紹介冊子(一般向け)

D 開業PRパネルの作成 時期 / 平成25～26年度

開業の効果等を分かりやすく紹介したパネルを作成し、イベント時に掲示する。

③ 市民・事業者との連携

北陸新幹線の金沢開業に向け、民間団体等と連携し、官民一体となって気運を盛り上げ、また来街者に対するもてなし力の向上を図るための取り組みを推進する。

A 新幹線金沢魅力発信支援事業の実施 実施期間 / 平成25～27年度

対 象 / 市内に事務所等を置く団体等が、中心市街地活性化基本計画区域内で行う新幹線開業を周知するための新たな取り組み

補助率等 / 対象経費の2分の1(300千円限度)

B もてなし力向上等推進事業の実施 時期 / 平成24～26年度

民間団体が連携して実施するもてなし力の向上に向けた講習会等を支援する。

C 開業PRの協力要請 時期 / 平成25～26年度

民間企業や各種団体等に、新幹線開業PR広告の掲載やキャッチフレーズ・ロゴマークの積極的な活用などについて協力を要請する。



2015年春・北陸新幹線開業

キャッチフレーズ・ロゴマーク(気運醸成用)

(2)開業カウントダウンイベントの開催

北陸新幹線の金沢開業を目前に控え、市民や事業者等の開業への気運をより一層高めていくとともに、開業前後の賑わい創出につなげていくため、開業前年度にあたる平成25年度から開業カウントダウンイベントを実施する。

①開業記念キックオフイベントの開催 時期 / 平成25年10月中旬(予定)

北陸新幹線開業の約1年半前に、開業記念イベントの第1弾として、キックオフイベントを開催する。

A 開業記念イベントキックオフ宣言式 場所 / もてなしドーム地下広場

新幹線開業に向けた記念イベントの開始を宣言する。

B 新幹線開業キックオフフェスタ(仮称) 場所 / もてなしドーム地下広場

北陸新幹線沿線都市の中で、本市が協定等を締結している都市や周辺市町の「食」や「特産品」を展示販売し、各市町の魅力を知ってもらうブースを設置する。

本市の食の魅力を代表する、「海の幸」や「和菓子」などのコーナーを設置するほか、販売や手作り体験、試食体験などのブースも設置する。

新幹線開業PRブースを設置し、パネルの設置やPRグッズを配布する。

C 新幹線レール1000人ウォーク(仮称) 場所 / 新幹線金沢駅舎

金沢駅舎から延びるレール敷を徒歩で体感する見学会を開催し、参加者にはPRグッズ等を配布する。



北陸新幹線夏休み親子現場見学会

②開業1年前カウントダウンイベントの開催 時期 / 平成26年3月(予定)

北陸新幹線開業の1年前に、新幹線の映像等を利用し、新幹線開業をイメージできるようなイベントを開催する。

A 新幹線ヒストリー映像の放映 場所 / もてなしドーム地下広場

「こだま」、「ひかり」、「のぞみ」といった歴代新幹線車両の走行シーンや、新幹線の開業からの歴史を綴った映像等を放映する。

B 金沢駅西広場完成式典との連携

金沢駅西広場全体の工事完成を祝い、駅西広場にて記念式典を開催する。

③開業200日前カウントダウンイベントの開催 時期 / 平成26年8月頃(予定)

開業日から起算して節目の日に、駅舎見学会やカウントダウンボード除幕式などを行うことにより、新幹線の開業を実感できるイベントを開催する。

④ 開業100日前カウントダウンイベントの開催 時期 / 平成26年11月頃(予定)

開業日から起算して節目の日に、金沢の夜のにぎわいを創出するためのプロジェクションマッピングを活用したイルミネーションイベントなどを開催する。



金箔雪吊り&ツリーファンタジーライトアップ



香林坊地区ツリーファンタジー

(3) 開業時イベントの開催 時期 / 平成27年3月(予定)

北陸新幹線の金沢開業を市民みんなで祝うとともに、新幹線利用者を市を挙げてお迎えし、あわせて金沢の魅力を全国へ向けて発信する開業イベントを実施する。

① 開業セレモニーとの連携

石川県、JR、機構と連携し、テープカットや新幹線利用者への記念品の配布、金沢駅発着時の伝統芸能によるおもてなしなどを実施する。

② 開業イベントの開催

新幹線開業を祝い、「開業記念パレード」や、都心軸の各エリア(金沢駅、武蔵ヶ辻、香林坊、片町)で、金沢の食や伝統文化を発信する「新幹線開業フェスタ」や北陸新幹線の開業までの歴史を振り返る「新幹線開業記念展」などを開催する。

(4) 開業後イベントの開催

金沢の魅力を全国へ向けて発信するとともに、賑わいを創出し、首都圏等から新幹線を利用した誘客を促進するための開業後イベントを実施する。

① 開業記念サマーイベントの開催 時期 / 平成27年夏(予定)

新幹線開業後の夏に、金沢の食の魅力発信や夜のにぎわいを創出するためのサマーイベントを開催する。

② 開業1周年イベントの開催 時期 / 平成28年3月(予定)

開業1周年を祝い、都心軸の各エリア(金沢駅、武蔵ヶ辻、香林坊、片町)で、金沢の食や伝統文化を発信する「開業1周年フェスタ」や北陸新幹線開業から1周年までを振り返る「開業1周年記念展」などを開催する。

(5) 連携イベントの開催

新幹線開業により金沢を訪れる多くの方々を、年間を通してもてなし、金沢の魅力に触れ、体感していただくため、開業記念イベントにあわせて連携イベントを実施する。

① 四季を通じた賑わい創出・観光誘客イベントの開催

新幹線開業記念イベントと連携して開催し、年間を通じて金沢の多様な魅力を発信するとともに、まちなかの賑わいを創出する。

A 既存イベントの開催 ※開業年度はさらに内容を充実して開催

【主なもの】

ラ・フォル・ジュルネ 金沢音楽祭	4～5月	にぎわい発信フェスタ	9月
金沢百万石まつり	6月	おしゃれメッセ	10月
金沢アカペラ・タウン	8月	金沢歴史遺産探訪月間	10～11月
もてなし力向上 フォーラム	8月	eAT KANAZAWA	1月
金沢 JAZZ STREET	9月	フードピア金沢	2月



ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭



金沢百万石まつり

② 開業前後に行う新たなイベントの開催

既存イベントに加えて、新たな金沢の魅力の発信、来街者へのおもてなしをするため、新規イベントを実施する。

A 新規イベントの開催

【主なもの】

平成 25年度	ナイトミュージアム・ ナイトカルチャー・ナイト文化財	7～10月(再掲)
	第2回金沢・世界工芸トリエンナーレ	8月
	夜のにぎわい創出事業	10月(再掲)
	現代茶道具公募展(仮称)	10月
	地域伝統芸能全国フェスティバル	10月
	金沢21世紀美術館 開館10周年プレイベント	11～12月(予定)
平成 27年度	マルシェ・ド・ノエル(クリスマス市)金沢	12月(再掲)
	金沢マラソン	11月

③ 全国的、世界的な大会の誘致

新幹線の開業と金沢の魅力を全国に向けて発信する大規模な全国会議、世界会議を誘致する。

平成 27年度	ユネスコ創造都市ネットワーク会議
	JCI世界会議金沢大会
	第66回全国植樹祭
	日本スポーツマスターズ2015石川大会(仮称)

など

6. おもてなし環境の整備

(1) 石川県金沢観光情報センターの機能強化

金沢の玄関口の金沢駅に設置する観光案内所のリニューアルと合わせ、コンシェルジュ養成や手荷物預かり等の機能強化を図り、観光客の利便性を高める。



石川県金沢観光情報センター

(2) 金沢市観光協会の充実強化

首都圏における情報発信やプロモーション活動及び金沢におけるメディア等の取材や旅行会社からの問い合わせに対応する体制等を強化する。

(3) 二次交通案内の充実

観光客(外国人含む)に対し、観光素材を円滑に楽しんでもらうため、わかりやすい交通案内を行う。

① わかりやすいバスロケーションの設置 時期 / 平成25年度～

主要な訪問地別に路線バスの発車情報を案内するバスロケーションシステムを金沢駅東口に設置する。

② わかりやすいバス案内板の設置 時期 / 平成25年度～

主要なバス停に周辺案内図及び主要訪問地へのバスアクセス案内を設置する。

(4) 公的サインの総合点検整備 時期 / 平成25年度～

観光客目線で公的サインの総合点検を行い、貼り替え等を行う。

7. ICTを活用した情報発信の充実強化

(1) スマホ対応観光情報の多言語化 時期 / 平成25年度

金沢市観光協会の外国語(英語、フランス語)スマートフォンページを開発する。



金沢市観光協会のスマートフォンページ

(2) 観光客向けバス検索システムの開発 時期 / 平成25年度

観光客等の利便性向上を図るため、市内主要スポット間のスマートフォン用バス経路検索システムを開発する。

(3) 金沢市HPのスマホ対応化 時期 / 平成25年度

文化・芸術施設や市の公式のホームページなどをスマートフォンに全対応し、観光・ビジネス客の利便性を向上するとともに、金沢の魅力を効果的に発信する。

(4) ICTを活用した観光情報の発信 時期 / 平成25～26年度

金沢市観光協会のホームページの掲載情報を整理し、利便性向上を図るため、見やすく、分かりやすいホームページに改修する。

(5) 観光客向けメールマガジン*の充実 時期 / 平成26年度～

金沢ファンを増やすため、テーマを設定し、メールマガジンで金沢の観光情報を発信するとともに、観光客ニーズを把握するため、ホームページ上でアンケートを実施する。

* メールマガジン
発信者が定期的にメールで情報を流し、読みたい人が購読するようなメールの配信の一形態

